

2026年5月29日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、畜産関連が持ち直し、消費関連は一部で持ち直している。一方で、観光関連は一服し、雇用関連は横ばい、生産活動は弱含み、投資関連は一部で低調となっている。全体として改善傾向はみられるが、今後のイラン情勢の影響などに注意する必要がある。

生産活動は、2月の鉱工業生産指数が3か月連続で前年を上回った。電子部品・デバイスが前年を下回ったものの、食料品、窯業・土石製品、汎用・生産用機械が前年を上回った。

畜産関連では、4月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A5、去勢A4ともに前年を上回った。また、豚肉、ブロイラーもも肉、むね肉は前年を上回り、鶏卵相場は前年を下回った。

個人消費関連は、4月の軽自動車届出台数は前年を下回り、3月の百貨店・スーパー販売額は前年をやや下回った。一方で、3月のコンビニエンスストア販売額はほぼ前年並み、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額、4月の乗用車新車登録台数は前年を上回った。

観光関連では、4月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、2か月連続で前年を下回った。種子島・屋久島地区は3か月連続で前年を上回り、奄美地区は7か月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は、多くの調査対象施設で前年を下回った。

投資関連では、公共工事請負金額、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数のいずれも前年を下回った。

雇用情勢は、3月の有効求人倍率は前月を0.02ポイント下回る1.03倍となった。

【生産活動】... 弱含み

2月の電子部品・デバイスの鉱工業生産指数は前年を下回った。スマホ向けなどでは底打ちの動きがみられる一方、EV向けや5G関連の需要が回復していない。価格競争の激化や買い替えサイクルの長期化などにより、回復の時期が見通しづらい状況である。

3月の焼酎生産は、2か月ぶりに前年を下回った。県内への出荷が前年を下回る一方、未納税移出が前年を大幅に上回り、出荷量は2か月ぶりに前年を上回った。

2月のかつお節生産は、5か月連続で前年を下回った。

4月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが10か月連続で前年を下回り、民間工事向けは2か月連続で前年を下回り、全体では27か月連続で前年を下回った。

4月の紙パルプ生産は、2か月連続で前年を上回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を上回った。

【畜産関連】... 持ち直し

4月の子牛の出荷頭数は前年を下回ったが、出荷頭数の減少の影響により価格は前年を上回った。4月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A5、去勢A4ともに前年を上回った。3月の枝肉生産量は前年を上回った。

4月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は、28.4%増と2か月連続で前年を上回った。3月の枝肉生産量は前年を上回った。

4月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は4.7%増と19か月連続で前年を上回り、むね肉は12.2%増と19か月連続で前年を上回った。4月の処理羽数は前年を上回った。

4月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は、生産量の回復や高値による買い控え等の影響により5.4%減と3か月連続で前年を下回った。3月の配合飼料価格は前年を上回った。

【消費関連】... 一部で持ち直し

3月の百貨店・スーパー販売額は、衣料品、飲食料品ともに前年を下回り、全体では前年をやや下回った。

3月の**専門量販店販売額**は、家電大型専門店、ドラッグストアは前年を上回り、コンビニエンスストアはほぼ前年並みとなった。

4月の**乗用車新車登録台数**は、10か月ぶりに前年を上回った。車種別にみると、普通車は5.9%増、小型車が12.5%増となった。4月の**軽自動車届出台数**は2か月ぶりに前年を下回った。

【観光関連】... 一服

4月の**主要ホテル・旅館宿泊客数**（鹿児島・霧島・指宿地区）は、2か月連続で前年を下回った。関東などの国内客の入り込みが減少したほか、中国、香港からの入り込みが減少した。

鹿児島地区は、中国、香港からの入り込みや団体客が減少し、2か月連続で前年を下回った。

霧島地区は、韓国や台湾からの入り込みが増加したものの、九州からの入り込みや個人客、団体客ともに減少し、2か月連続で前年を下回った。

指宿地区は、インバウンドや個人客が減少し、2か月連続で前年を下回った。

種子島・屋久島地区は3か月連続で前年を上回り、**奄美地区**は7か月連続で前年を下回った。

4月の**主要観光施設入場者数**は、多くの調査対象施設で前年を下回った。

【投資関連】... 一部で低調

4月の**公共工事**は、件数は前年を上回り、請負金額は前年を下回った。

3月の**民間建築工事着工**は、棟数、床面積、工事費予定額ともに前年を下回った。

3月の**新設住宅着工戸数**は、前年を大幅に下回り、37.9%減となった。持家、貸家、分譲のいずれも前年を大幅に下回った。3か月移動平均は前年を大幅に下回り、33.5%減となった。

4月の**主要建設資材卸売業者の売り上げ**は、3か月ぶりに前年を下回った。

【貿易関連】... 輸出額は前年を上回り、輸入額は前年を下回った

3月の**輸出額**は、パルプ及び古紙、ゴムタイヤ及びチューブ、木材が前年を下回ったものの、食料品及び動物が前年を上回り、全体では23.0%増と8か月連続で前年を上回った。**輸入額**は、穀物及び同調製品が前年を上回ったものの、原油及び粗油が前年を

大幅に下回り、全体で 34.8%減と 4 か月連続で前年を下回った。

【雇用情勢】 ... 横ばい

3月の有効求人倍率は前月を 0.02 ポイント下回る 1.03 倍となった。県内求人数を業種別にみると、製造業、建設業、卸小売、医療・福祉は前年を下回った。

【金融情勢】 ... 貸出金残高は前年を上回った

2月の県内金融機関の貸出金残高は前年を 1.3% 上回った。

【企業倒産】 ... 倒産件数は前年を上回った

4月の企業倒産（負債額 1,000 万円以上）は、件数が 7 件で 2 か月ぶりに前年同月（5 件）を上回った。また、負債総額は 7 億 87 百万円で前年同月（19 億 48 百万円）を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (TEL 099-225-7491)